

YMCAと地域と共に 熊本ワイズメンズクラブ設立60周年

YMCAの活動を支える国際的ボランティア団体、ワイズメンズクラブ。熊本YMCAと時代を同じくして誕生した熊本ワイズメンズクラブが設立60周年を迎え、2月20日(土)に記念例会が開催されました。この例会では、記念アクトとして、熊本YMCA、鹿児島YMCA、自立の店「ひまわり」の3団体へ向け、熊本ワイズメンズクラブから支援金が贈呈されました。



ワイズメンズクラブの綱領には、「まず第一にYMCAのためのサービスクラブとして活動する」とあります。熊本YMCAの創立から10カ月後に熊本ワイズメンズクラブは誕生。現在でも、「ポニーキャンプ」や「日韓視覚障がい青少年交流プログラム」がワイズとYMCAの協働で実施されています。また、熊本クラブ設立以後、熊本には、熊本ジェーンズ・八代・熊本むさし・熊本みなみ・熊本ひがし・阿蘇・熊本にし・熊本ヤングという8つのクラブが誕生し、地域YMCAと共に活動を展開しています。さらに、昨年10月鹿児島YMCAが創立。20年前、熊本クラブのメンバーで鹿児島出身の朝比奈澄磨さんは往復7時間をかけて鹿児島を幾度も訪ね、鹿児島ワイズメンズクラブの設立に尽力されました。鹿児島YMCAの創立は鹿児島

熊本ワイズメンズクラブ関連年表

年	月	出来事
1949	6	ワイズメンズクラブを熊本で結成するための第1回発起人会がこどもハウス(水道町)で開かれる
	7	熊本クラブの結成式(設立総会)が開かれる(会員数20名、スポンサークラブは大阪)
	8	国際協会から加盟認証を受け、日本区19番目のクラブとなる
	12	認証状伝達式(古城町紫苑会館)
1953	8	6.26水害を受け、水害被災児童招待キャンプを開催
1956		YMCA阿蘇キャンプのミシガンキャビン建設募金に協力
1957	8	水害被災児童夏季学校、被災児童夏季キャンプを開催
1960	7	第1回肢体不自由児療育キャンプ(小羊会)を大矢野町野金小学校で開催(1967年まで継続)
1961	7	第1回知的障がい児療育キャンプ(小鳩会)を阿蘇キャンプで開催
1962	11	熊本YMCA初の自動車を寄贈
1963	5	第18回日本区大会を熊本に誘致開催
1965	5	須古博之、渡邊正一らがワイズとして初めて韓国光州での韓国区大会に招待される
1970	7	ワイズと建築技術専門科学生の奉仕によって「ワイズキャビン」を阿蘇キャンプに寄贈
1972	11	セ・テグクラブと国際兄弟クラブ(IBC)を締結
1974	8	第1回熊本盲学校生キャンプ(第3回以降「ポニーキャンプ」の名称に)を開催
1977	4	熊本YMCA少年サッカーチームの大邱訪問を支援
1981	8	日韓視覚障がい青少年交流プログラムが開始、熊本盲学校野球チームが韓国・大邱光明学校を訪問
1987	1	お年玉付年賀はがき当選切手シートの寄贈依頼を年賀はがきに印字開始
	5	初めてスポンサーとして「熊本ジェーンズクラブ」を設立
1989	9	熊本クラブ40周年を記念し、熊本ジェーンズクラブと共に「八代ワイズメンズクラブ」を設立
1990	2	熊本ジェーンズクラブと共に「鹿児島ワイズメンズクラブ」を設立
1991	7	日韓視覚障がい青少年交流プログラム支援のためチャリティコンサートを開催(1998年まで継続)
1998	11	熊本YMCA50周年記念礼拝・講演
2000	2	設立50周年式典を開催
	4	50周年を記念し、阿蘇キャンプに植樹を行う
2004	8	水俣土石流被災児童支援キャンプ「あおぞらキャンプ」に協力
2005	4	熊本クラブ55周年・八代クラブ15周年合同チャリティコンサート・記念アクト・祝会を開催
2009	10	鹿児島YMCA創立記念礼拝・式典
2010	2	熊本クラブ60周年記念例会を開催



初めての福祉キャンプである肢体不自由児キャンプ(小羊会)



熊本ワイズメンズクラブが結成(1949年12月3日)

島クラブの悲願でした。これからも、YMCAとワイズメンズクラブは手を携えて、社会の抱える様々な課題解決へ向けた働きを行ってまいります。

熊本ワイズメンズクラブ

内田守夫さん

私は1962年(昭和37年)に、朝比奈澄磨ワイズのお誘いで入会しました。1960年、金澤幸一ワイズが京都YMCAで実施されていた肢体不自由児キャンプを熊本YMCAにも取り入れ、高い評価を受けました。翌年、渡邊正一ワイズによる知的障がい児キャンプが始められ、19年続きました。次に、視覚・聴覚障がい児キャンプが同時に実施されました。事情があつて、聴覚障がい児キャンプは1年で中止となりましたが、視覚障がい児キャンプは30年を越えて継続されています。これがポニーキャンプです。

熊本クラブが原点となつて、今では熊本地区に9つのワイズが存在します。明治初期に熊本洋学校の教師として大きな働きをされ、YMCAの基礎を築いたジェーンズのキリスト教による思想は、熊本バンドの人たちを育て、光となつて現代を照らし、九州各地のワイズに影響を及ぼしています。また、渡邊正一ワイズの努力で、韓国セテグクラブと国際兄弟関係を結び、その働きは熊本県立盲学校と大邱(テグ)光明学校との交流として現在も続いています。ジェーンズの思想を引き継ぐ新しい光が熊本クラブ並びに熊本地区各クラブの上に注がれることを願って止みません。

※熊本クラブ60周年記念誌をもとに編集。

チリ大地震発生

200名のボランティアが 県内2カ所で街頭募金

2月27日(土)午前3時半(現地時間)、南米チリでマグニチュード8.8の巨大地震が発生しました。余震も含め、約200万人が地震の被害を受けています。チリには6カ所にYMCAがあり、特に被害が大きかったサンティアゴ、テムコ、バルパライソ、コンセプシオンの近隣地域で数千人が家や生活手段を失っています。現地のYMCAは、施設に大きなダメージを受けながらも、ボランティア活動の拠点として食料や医療品、衣料などの配給活動を開始しています。また、被災したYMCAの設備修繕と共に、トラウマを抱えた子どもたち対象のレクリエーション活動や簡易食堂の設置などが計画されています。(情報提供/日本YMCA同盟)



日本YMCAでは、すでに1万ドルをスイスの世界YMCA同盟に送金。また、全国のYMCAで募金活動が展開されています。熊本YMCAでは3月14日(日)、熊本市と菊陽町のショッピングモール2カ所で街頭募金を実施。会員ら約200名が支援を呼びかけ、16万円を超える募金が集まりました。引き続き、各YMCAでチリ地震被災者支援のための募金を受け付けています。困難な状況にある人々の笑顔が一日でも早く取り戻されるよう支援募金にご協力をお願いいたします。

●募金期間…2010年5月31日(月)

●募金方法…お近くのYMCAへお持ちいただくか、左記口座へお振込みください。

●振込口座…肥後銀行 新町支店 普通

1296939 災害支援緊急募金

理事長 吉本貞一郎

※氏名の前に「チリ」とお書きください。